

# 安全データシート (SDS)

作成年月日 2022年3月15日

## 1. 製品名及び会社情報

製品名	ウルトラハードクリーナー 洗たく槽用 (薬剤① 浸透剤 500g)		
会社名	株式会社リンレイ		
住所	〒104-0061	東京都中央区銀座4丁目10番13号	
担当部門	秦野工場 生産技術課		
電話番号	0463-81-5455		
FAX 番号	0463-82-4700		
緊急連絡先	同上		
推奨用途及び使用上の制限	(推奨用途) 洗濯槽用洗浄剤 (使用上の制限) 食品、医療用		

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

物理化学的危険性	該当しない	
健康に対する有害性	皮膚腐食性/皮膚刺激	区分 3
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分 1

### GHS のラベル要素

#### シンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	軽度の皮膚刺激 強い眼刺激 臓器の障害

### 注意書き

安全対策	<ul style="list-style-type: none"><li>取扱い前には、製品に記載された「使用方法」および「使用上の注意」をよく読み、理解してから使用すること。</li><li>マスク、ゴム手袋、保護メガネを着用すること。</li><li>屋外または換気のよい所で使用すること。</li><li>環境への放出を避けること。</li><li>取扱い後は、石鹼と水で手をよく洗うこと。</li></ul>
応急措置	<ul style="list-style-type: none"><li>眼に入った場合は、水で15分以上洗い、直ちに眼科医の診察を受けること。</li><li>皮膚に付着した場合は、汚染された服を脱ぎ、多量の水と石鹼で洗う。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断を受けること。</li><li>使用中に気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にする。回復しない場合は医師の診断を受けること。</li></ul>
保管 廃棄	<ul style="list-style-type: none"><li>直射日光を避け、熱源から離れた換気の良い場所で保管すること。</li><li>内容物や容器は、都道府県や市町村の規則に従って廃棄すること。</li></ul>

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名／化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	化審法	安全衛生法	PRTR 法
界面活性剤(ポリオキシアルキレンアルキルエーテル)	非公開	非公開	—	非該当	非該当
漂白剤(過炭酸塩)	非公開	非公開	—	非該当	非該当
発泡剤(炭酸塩)	非公開	非公開	—	非該当	非該当
炭酸ナトリウム(過炭酸塩として)	約 43	非公開	—	非該当	非該当
漂白活性化剤	非公開	非公開	—	非該当	非該当
金属封鎖剤	非公開	非公開	—	非該当	非該当
酵素	非公開	非公開	—	非該当	非該当
シリカ	1.0	112926-00-8	(1)-548	通知対象物質 No.312	非該当

## 4. 応急措置

吸入した場合

- ・ 空気の清浄な場所に移し、安静にする。
- ・ 呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。
- ・ 必要であれば医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

- ・ 大量の水及び石けん又は皮膚用洗剤を用いて十分に洗い落とす。
- ・ 外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。

目に入った場合

- ・ 直ちに清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
- ・ コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。
- ・ 直ちに眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合

- ・ 被災者に意識がある場合、水をコップ1～2杯飲ませ、吐かせない。口の中を水でよく洗う。
- ・ 被災者に意識がない場合、口から何も与えてはならない。また、吐かせてもならない。
- ・ 安静にして、直ちに医師の診断を受ける。

急性及び遅発性の症状の最も重要な特徴および症状

- ・ 情報なし。

応急措置をする者の保護

- ・ 救助者は保護手袋などの保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

- ・ 症状は遅れて発現することがある。
- ・ 暴露に対する治療は、患者の症状に応じて臨時的処置を行う。

## 5. 火災時の措置

本製品は引火しない。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・ 作業の際には適切な保護具(マスク、ゴム手袋、保護メガネ)を着用する。

環境に対する注意事項

- ・ 河川などへ排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- ・ 地域の規則に従う。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

### 取り扱い

#### <技術的対策、安全取り扱い注意事項>

- ・ 換気のよい場所で取り扱う。
- ・ 保護具(マスク、ゴム手袋、保護メガネ)を着用する。
- ・ 周囲に人やペットがいないこと確認してから使用する。

#### <衛生対策>

- ・ 取扱い後は、石鹼と水で手をよく洗う。

### 保管

#### <保管条件>

- ・ 日光の直射を避ける。
- ・ 通風のよいところに保管する。
- ・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・ 40℃以下の環境で保管する。
- ・ 湿気が多いところには保管しない。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 管理濃度・許容濃度

設定されていない。

### 設備対策

屋内作業の場合、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられる設備とすること。

### 保護具

呼吸器の保護具	保護マスク等を使用する。
手の保護具	化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具	保護メガネなどを着用する。
皮膚および身体の保護	長袖作業衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観	白色粉体
臭い	ほぼ無臭
pH	約 10 (1%水溶液)
融点・凝固点	-
沸点	-
引火点	なし
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	-
比重(相対密度)	データなし
溶解度 水溶解性	溶解
溶媒溶解性	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	-

## 10. 安定性及び反応性

反応性	一般環境下で安定
化学的安定性	一般環境下で安定
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	加熱状態。 水分、多湿雰囲気との接触。
混合危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	データ不足のため分類できない。
	経皮	データ不足のため分類できない。
	吸入	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性		区分 3 の成分である炭酸ナトリウム(過炭酸塩として)を約 43%含むため、区分 3 とした。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		区分 2 の成分である炭酸ナトリウム(過炭酸塩として)を約 43%含むため、区分 2 とした。
呼吸器感作性		データ不足のため分類できない。
皮膚感作性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		データ不足のため分類できない。
生殖毒性		データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・単回暴露		区分 1 の成分である炭酸ナトリウム(過炭酸塩として)を約 43%含むため、区分 1 とした。
特定標的臓器・反復暴露		データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性		データ不足のため分類できない。
水生環境有害性・急性		データ不足のため分類できない。
水生環境有害性・慢性		データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
BOD	データなし
COD <sub>Mn</sub>	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし。なお、本製品はモントリオール議定書にリストアップされた規制対象物質を含まない。

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

- ・ 洗たく槽を洗浄した排水は、地面にそのまま流さない。
- ・ 地域の規則に従う。

### 汚染容器及び包装

- ・ 容器等の廃棄物は許可を受けた廃棄物処理業者で処理する。
- ・ 地域の規則に従う。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	国連番号	UN3262
	品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質固体無機物・アルカリ性のもの
	国連分類	クラス 8
	海洋汚染物質	非該当
国内規制	陸上輸送	： 消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従う。
	海上輸送	： 船舶安全法の定めに従う。
	航空輸送	： 航空法の定めに従う。

## 15. 適用法令

国内適用法	労働安全衛生法	通知対象物質 No.312(シリカ 1.0%)
	化審法	非該当
	PRTR 法	非該当
	毒物及び劇物取締法	非該当
	消防法	非該当
	高圧ガス保安法	非該当
	火薬類取締法	非該当
	船舶安全法	危険物船舶運送貯蔵規則:第 3 条(分類等)告示別表第 1 その他の腐食性物質
	航空法	航空法施行規則:第 194 条告示別表第 1 その他の腐食性物質

## 16. その他の情報（引用文献等）

- ・ 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂 3 版（国際連合）
- ・ GHS 対応 化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度（厚生労働省）
- ・ 化学物質管理データシート（神奈川労務安全衛生協会）
- ・ ライン課長・職長のための化学物質管理（中央労働災害防止協会）

**（注意）このデータシートは製品に関する情報提供を目的としたものであり、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。**

# 安全データシート (SDS)

作成年月日 2022年3月15日

## 1. 製品名及び会社情報

製品名	ウルトラハードクリーナー 洗たく槽用 (薬剤② 発泡剤 60g)		
会社名	株式会社リンレイ		
住所	〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目10番13号		
担当部門	秦野工場 生産技術課		
電話番号	0463-81-5455		
FAX 番号	0463-82-4700		
緊急連絡先	同上		
推奨用途及び使用上の制限	(推奨用途) 洗濯槽用洗浄剤 (使用上の制限) 食品、医療用		

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

物理化学的危険性	該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2A

### GHS のラベル要素

#### シンボル



注意喚起語	警告
危険有害性情報	強い眼刺激

### 注意書き

安全対策	<ul style="list-style-type: none"><li>取扱い前には、製品に記載された「使用方法」および「使用上の注意」をよく読み、理解してから使用すること。</li><li>マスク、ゴム手袋、保護メガネを着用すること。</li><li>屋外または換気のよい所で使用すること。</li><li>環境への放出を避けること。</li><li>取扱い後は、石鹼と水で手をよく洗うこと。</li></ul>
応急措置	<ul style="list-style-type: none"><li>眼に入った場合は、水で15分以上洗い、直ちに眼科医の診察を受けること。</li><li>皮膚に付着した場合は、汚染された服を脱ぎ、多量の水と石鹼で洗う。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断を受けること。</li><li>使用中に気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にする。回復しない場合は医師の診断を受けること。</li></ul>
保管 廃棄	<ul style="list-style-type: none"><li>直射日光を避け、熱源から離れた換気の良い場所で保管すること。</li><li>内容物や容器は、都道府県や市町村の規則に従って廃棄すること。</li></ul>

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名／化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	化審法	安全衛生法	PRTR 法
クエン酸	80	5949-29-1	(2)-1318	非該当	非該当
安定化剤(硫酸塩)	非該当	非該当	—	非該当	非該当
酸化アルミニウム	5	1344-28-1	(1)-23	通知対象物質 No.189	非該当
シリカ	1.0	112926-00-8	(1)-548	通知対象物質 No.312	非該当
香料	非該当	非該当	—	非該当	非該当

## 4. 応急措置

吸入した場合

- ・ 空気の清浄な場所に移し、安静にする。
- ・ 呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。
- ・ 必要であれば医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

- ・ 大量の水及び石けん又は皮膚用洗剤を用いて十分に洗い落とす。
- ・ 外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。

目に入った場合

- ・ 直ちに清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
- ・ コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。
- ・ 直ちに眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合

- ・ 被災者に意識がある場合、水をコップ1～2杯飲ませ、吐かせない。口の中を水でよく洗う。
- ・ 被災者に意識がない場合、口から何も与えてはならない。また、吐かせてもならない。
- ・ 安静にして、直ちに医師の診断を受ける。

急性及び遅発性の症状の最も重要な特徴および症状

- ・ 情報なし。

応急措置をする者の保護

- ・ 救助者は保護手袋などの保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

- ・ 症状は遅れて発現することがある。
- ・ 暴露に対する治療は、患者の症状に応じて臨時的処置を行う。

## 5. 火災時の措置

本製品は引火しない。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・ 作業の際には適切な保護具(マスク、ゴム手袋、保護メガネ)を着用する。

環境に対する注意事項

- ・ 河川などへ排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- ・ 地域の規則に従う。

## 7. 取り扱い及び保管上の注

取り扱い

&lt; 技術的対策、安全取り扱い注意事項 &gt;

- ・ 換気のよい場所で取り扱う。
- ・ 保護具(マスク、ゴム手袋、保護メガネ)を着用する。
- ・ 周囲に人やペットがいないこと確認してから使用する。

<衛生対策>

- ・ 取扱い後は、石鹼と水で手をよく洗う。

保管

<保管条件>

- ・ 日光の直射を避ける。
- ・ 通風のよいところに保管する。
- ・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・ 40℃以下の環境で保管する。
- ・ 湿気が多いところには保管しない。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度

設定されていない。

設備対策

屋内作業の場合、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられる設備とすること。

保護具

呼吸器の保護具	保護マスク等を使用する。
手の保護具	化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
目の保護具	保護メガネなどを着用する。
皮膚および身体の保護	長袖作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	白色粉体
臭い	特有な香気
pH	約 3 (0.1%水溶液)
融点・凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	なし
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
比重(相対密度)	データなし
溶解度 水溶解性	溶解
溶媒溶解性	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	-

10. 安定性及び反応性

反応性	一般環境下で安定
化学的安定性	一般環境下で安定
危険有害反応可能性	塩素系の製品と一緒に使う(まぜる)と有害な塩素ガスが発生する
避けるべき条件	一般環境下で安定
混合危険物質	塩素系製品との混合禁止
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	混合物判定理論経口 LD50 の推定値 ATEmix が 6,900mg/kg であるため、区分外とした。
	経皮	データ不足のため分類できない。
	吸入	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性		データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		区分 2A の成分であるクエン酸を 80%含むため、区分 2A とした。



呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・単回暴露	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・反復暴露	データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性・急性	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性・慢性	データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
BOD	データなし
COD <sub>Mn</sub>	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし。なお、本製品はモントリオール議定書にリストアップされた規制対象物質を含まない。

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

- ・ 廃液等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・ 容器、機器装置等を洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さない。
- ・ 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託する。
- ・ 地域の規則に従う。

### 汚染容器及び包装

- ・ 容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・ 地域の規則に従う。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	国連番号	非該当
	品名(国連輸送名)	非該当
	国連分類	非該当
	容器等級	非該当
	海洋汚染物質	非該当
	国内規制	陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従う。
	海上輸送：船舶安全法の定めに従う。	
	航空輸送：航空法の定めに従う。	

## 15. 適用法令

国内適用法	労働安全衛生法	通知対象物質 No.189(酸化アルミニウム 5%) 通知対象物質 No.312(シリカ 1%)
	化審法	非該当
	PRTR 法	非該当
	毒物及び劇物取締法	非該当
	消防法	非該当
	高圧ガス保安法	非該当
	火薬類取締法	非該当
	船舶安全法	非該当
	航空法	非該当

16. その他の情報（引用文献等）

- ・ 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂3版（国際連合）
- ・ GHS 対応 化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度（厚生労働省）
- ・ 化学物質管理データシート（神奈川労務安全衛生協会）
- ・ ライン課長・職長のための化学物質管理（中央労働災害防止協会）

**（注意）このデータシートは製品に関する情報提供を目的としたものであり、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。**